

町長との主な懇談事項

1. 池田町の財政状況に関する町長の認識

- 行財政改革推進委員会が第一次答申を町長に11月8日に提出して以降、町長はまちづくり懇談会や議会において、池田町の財政は危機的状況を脱した旨の発言を繰り返しています。

(参考) 町長が財政危機を脱したとする主な根拠

- ・ 国の定める財政健全化法上の財政指標が基準を下回っていること
(注) 実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率
- ・ 令和2年度決算で黒字であったこと
- ・ 財政調整基金が標準財政規模の1割程度(3億円程度)を上回る金額を確保できること(令和2年度末=4.8億円、3~8年度=5~6億円程度) など

2. 行財政改革推進委員会の存在意義

- 2021年5月28日に町長が行財政改革推進委員会に諮問を渡した際、町長からは、池田町は厳しい財政状況に陥ったため財政状況の改善を図りたいので協力をお願いしたいと述べている。
- 行財政改革推進委員会の役割は、池田町の財政は危機的状況にあるという認識のもと、危機を克服するための方策について厳しい内容の答申をまとめているところ。

3. 行財政改革推進委員会答申に対する真摯な対応

- 行財政改革推進委員会では、池田町の将来のため、精力的に審議を行い、答申をまとめているところ、町長においては答申内容をゼロベースで検討していただきたい。